

適性検査Ⅰ

注意

- 1 問題は **1** のみで、**2** ページにわたって印刷してあります。
- 2 検査時間は **四十五分** で、終わりは **午前九時四十五分** です。
- 3 声を出して読むはいけません。
- 4 解答はすべて解答用紙にはっきりと記入し、**解答用紙だけを提出** してください。
- 5 解答を直すときは、きれいに消してから、新しい解答を書きなさい。
- 6 **受検番号** を解答用紙の決められたところに記入しなさい。

東京都立武蔵高等学校附属中学校

1 次の二つの文章A・Bを読んで、あとの問題に答えなさい。

(文章A)

虹の足

吉野の弘

雨があがって

雲間から

①乾麵かんめんみたいに真直まっすぐな

陽射ひざししがたくさん地上じやうちやうに刺ささり

行手ゆきでに榛名山はるなさんが見えたころ

山路やまみちを登るバスの中で見たのだ、虹の足を。

眼下がんげにひろがる田圃たんぼの上に

虹にじがそつと足を下ろしたのを！

野面のづらにすらりと足を置いて

虹のアーチが軽かろやかに

すつくと空に立ったのを！

その虹の足の底に

小さな村といくつかの家が

すっぽり抱だかれて染そめられていたのだ。

それなのに、

家から飛び出して虹の足にさわろうとする人影ひとかげは見えない。

—— おーい、君の家が虹の中にあるぞよ

乗客たちは頬ほおを火照ほてらせ

野面に立った虹の足に見とれた。

多分、あれはバスの中の僕ぼくらには見えて

村の人々には見えないのだ。

そんなこともあるのだろう

他人には見えて

自分には見えない幸福の中で
格別おどろ驚おどろきもせず

幸福しあわせに生なきていることが——。

(詩集『北入會きたいりそ』より)

吉野さんから聞いたのですが、右の詩は吉野さんの実際の
体験から生まれたとのことですよ。

吉野さんは、田んぼの上に虹のはしがついているのを見て、
ハッとおどろきました。バスのほかの乗客たちも、その情景
を目にしました。そのうちの一人は、家に帰って、そのこと
を話すかもしれないし、一人は日記を書くかもしれません。
でも、たぶん、大部分の乗客たちは、そのときハッとしまま
まで、過ぎてしまおうでしょう。

でも、吉野さんは、右のような、すばらしい詩を書かれた。

そこで、わたしは、次のように考えます。

この詩を読むことで、わたしは吉野さんの「おどろき」と
対話しているのだと。

「おどろき」は、この場合、「感動」といい変えてもいい
かもしれません。

このことは詩にかぎらないと思います。絵でも音楽でも、
きみは、それらを通じて、作者の「おどろき」や「感動」と、
ことばを交かわしているのです。

(「ことばのカーシャべる・聞く・伝える」 川崎かわさき 洋ひろし)

○ことばの説明

①乾麵かんめん：干ほしためん類。干しうどん・そうめんなど。

②野面のづら：野原。野外。

(文章B)

理想的なコミュニケーションとはどういうものか。私は、クリエティブな関係性だと思う。クリエティブとは、新しい意味がお互いの間に生まれるということである。たとえば、ある知識を持つ人が、もう一人にその知識を伝えたとする。そこで質問が行われ、対話的に情報が伝えられたとする。その場合、聞き手にとっては、新しい意味が獲得されることになる。一方通行ではなく、聞き手側が質問やコメントといった形でアクションを起こすことによって、話される意味が少し変わってくる。コミュニケーションを生かして、情報伝達の質を高めるということはある。

しかし、ここで私の言うクリエティブな関係性は、話をすることでお互いにとって新しい意味がその場で生まれるという関係を指している。聞き手が発した言葉によって自分が刺激され、新しい意味を見つけ出すことがある。二人で「ああ、そうだったのか、気づかなかったね。」と喜び合うような瞬間がある。それがクリエティブな対話の関係だ。

自分の経験を振り返ってみてほしい。対話する前には決して思いつくことのできなかったことを思いついた瞬間があるのではないだろうか。謎が解け、霧が晴れたような快感。脳が活性化し、ワクワクするような気持ち。こうした軽い興奮がクリエティブな対話にはある。どちらの頭が優秀であるかということを競い合うのが対話の目的ではない。どちらから新しい意味が生まれたのかさえも重要ではない。大切なのは、今ここでこのメンバーで対話をしているからこそ生まれた意味がある、ということだ。意味に日付と場所を書き添えることさえできる。あのととき、あそこで、あの「意味」が生まれたんだ、と思いつくことができる対話経験があれば、

それをコミュニケーションの理想型と設定できる。

(「コミュニケーション力」 齋藤 孝)

○ことばの説明

- ① コミュニケーション：おたがいに考えを伝え合うこと。
- ② クリエティブな：新しいものを生み出すような。
- ③ コメント：解説や意見を述べること。
- ④ アクション：行動。動作。

問題一

文章Aの詩を通して、この詩の作者が伝えたいことを大きく二つに分け、詩の中の言葉を用いて、五十文字以内でまとめなさい。(「、」や「。」も字数として数えます。)

問題二

文章Aと文章Bで述べられている「対話」のちがいを、五十文字以内でまとめなさい。(「、」や「。」も字数として数えます。)

問題三

あなたにとっての理想的な対話とはどのようなものであると考えますか。そう考える理由、その対話を実現させるために気をつけなければいけないことをふくめ、自分自身の体験例をあげて書きなさい。題名・名前は書かずに、四百五十文字以上、五百文字以内で書くこと。(「、」や「。」、段落をかえたときの残りのます目もそれぞれ字数として数えます。)

